

令和5年11月30日  
東京都信用農業協同組合連合会

## サステナビリティローンの契約締結について

当会は、三井住友ファイナンス&リース株式会社(代表取締役社長:橘 正喜、以下「SMFL」)に対するシンジケーション方式のサステナビリティローン(以下「本ローン」)に参加いたしましたので、お知らせします。

本ローンは、企業等が環境問題の解決に貢献する事業(以下「グリーンプロジェクト」)及び、社会問題の解決に貢献する事業(以下「ソーシャルプロジェクト」)に要する資金を調達する際に用いられる融資であり、具体的には、①調達資金の使途がグリーンプロジェクト及びソーシャルプロジェクトに限定され、②調達資金が確実に追跡管理され、③それらについて融資後のレポートイングを通じ透明性が確保されたものを指します。

SMFLは、株式会社三井住友フィナンシャルグループと住友商事株式会社が50%ずつ出資する両社の持分法適用会社で、「幅広い金融機能を持つ事業会社」の強みを追求し、金融サービスをはじめとした付加価値の高いサービスを提供しています。経営理念、経営方針、価値観、基本姿勢を示した「SMFL Way」におけるOur Vision(私たちの目指す姿)の一つに“SDGs 経営で未来に選ばれる企業”を掲げ、SDGs 経営を成長戦略と位置づけて社会の持続的発展の貢献に努めています。

本ローンで調達される資金は、SMFLが策定した「サステナブルファイナンスフレームワーク」(以下「本フレームワーク」)で定められたグリーンプロジェクト、ソーシャルプロジェクトに充当される予定です。同社においては、今後もサステナブルファイナンスによる資金調達を通じ、資本市場へESG投資機会を提供すると同時に、環境エネルギービジネスの推進およびサステナビリティの取り組みについて、社内外への浸透を図っていきます。

本フレームワークは、第三者評価として株式会社日本格付研究所(JCR)より「JCRサステナビリティファイナンス・フレームワーク評価」の最上位評価である「SU1(F)」を取得しております。

当会では、今後も、お客さまのSDGs・ESGへの取り組みを積極的にサポートし、持続可能な開発目標の実現を目指してまいります。

以上